

部の運営方針・課の目標設定書(令和2年度)

部コード	17	部名	子ども部	部長名	星 範之
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>●第三次基本計画の重点プロジェクト4「若い世代に選ばれるまちづくり」やまち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進します。さらに、子ども・子育て支援事業計画を兼ねた「第四次我孫子市子ども総合計画」の進行管理を行い、乳幼児期の保育と教育や地域の子どもの子育て支援策の充実を図ります。</p> <p>・子育て支援拠点施設を核とし、妊娠期からを視野に入れ、孤立せず安心して生き活きと子育てができる環境づくりに努めます。また、地域の人々との連携を密にし、地域の子育て力の向上と多様な子育て支援事業を展開します。</p> <p>・「第三次我孫子市保育園等整備計画(改訂版)」に基づき、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりに取り組むとともに、老朽化に伴い建て替える湖北台保育園とわくわく広場の複合施設を令和4年度に開設できるよう、今年度は設計業務を行います。</p> <p>・市内の保育園や認定こども園・幼稚園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、乳幼児期に質の高い保育・教育等の提供が受けられるよう指導・調整に努めます。</p> <p>・「子ども家庭総合支援拠点」では、育児や家庭環境など子どもと家庭に関する相談や児童虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、支援を要する妊産婦等にも積極的に働きかけ指導・助言を行います。また、オレンジボン運動の推進など児童虐待防止の啓発活動に取り組んでいきます。</p> <p>・いじめ問題に対しては、教育委員会と連携し「いじめ問題防止対策連絡協議会」を開催し、関係機関相互の連携強化を図り、いじめ防止等の対策を推進します。</p> <p>・「我孫子市子ども発達支援計画」に基づき、発達支援、家族支援、地域支援の充実と機能強化を図り、発達に支援が必要な子どもの乳幼児期からの一貫した支援体制作りを推進していきます。そのため「療育・教育システム連絡会」において、関係機関との連携を深め、早期発見からライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を進めます。</p> <p>・子育てを応援するため、子ども医療費助成の対象者を高校生まで拡大し、子育て世帯に対する経済的な負担軽減を、更に推進します。</p> <p>・「第二次放課後子ども総合プラン行動計画」に基づき、学童保育室とあびっこクラブ、それぞれの事業の目的に沿って、子ども達の放課後が充実するよう施設の環境整備や質の向上に努めます。</p> <p>・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの自然体験・生活体験事業の実施や青少年育成団体の活動を支援します。</p> <p>・少子化対策として、結婚・妊娠・出産・子育て・子育てへの切れ目のない支援を推進していきます。</p>				<p>・「第四次我孫子市子ども総合計画」の進行管理を行い、子育て世帯への支援事業を適切に実施した。</p> <p>・契約が満了となる民営化学童保育室の事業者選定を行った。</p> <p>・子育てを世帯を応援するため、8月より子ども医療費助成の対象者を高校生まで拡大し、子育て世帯に対する経済的な負担軽減を推進した。</p> <p>・「第二次放課後子ども総合プラン行動計画」に基づき、学童保育室とあびっこクラブの空調機器の更新や床修繕等、施設の環境整備を行った。</p> <p>・コロナウイルス感染症拡大により、げんきフェスタやフレンドシップツアーは開催を見送ったが、あびこ子どもまつりは、オンライン開催とし体験活動などの紹介を行った。</p> <p>・少子化対策として、社会福祉協議会の結婚相談事業を支援した。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、保育園や学童保育室などの登園自粛や集客する事業の中止などありましたが「新しい生活様式」を實踐し、第三次基本計画の重点プロジェクト4「若い世代に選ばれるまちづくり」や、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」を念頭に、部の運営方針に基づき、3課が、各事業の適正な実施及び充実に遅延なく取り組み、子育て・子育て支援施策の推進が着実に図れたと評価する。</p>	

課コード	01	課名	子ども支援課	課長名	荒井 康哲
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>部の運営方針に基づき、次のとおり取り組みます。</p> <p>1. 子ども・子育て支援事業計画を兼ねた子ども総合計画を着実に推進します。</p> <p>2. 母子・父子家庭への支援、子ども医療費の助成、児童手当及び児童扶養手当等の適正な支給に努めます。</p> <p>3. 令和2年度から新たに策定した「第二次我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画」に基づき、学童保育室とあびっこクラブの一体的な運営と、保育環境の整備や質の向上にも努めます。</p> <p>4. 子どもの成長や自立を促進するため、手賀の丘宿泊事業を実施すると共に、青少年相談員連絡協議会の活動を支援していきます。また、恒例となっているげんきフェスタ及び子どもまつりを市民団体と協力のうえ開催します。</p> <p>5. 少子化対策として、我孫子市社会福祉協議会と連携して、結婚相談業務の充実を図ります。</p> <p>6. 子育てを応援するため、子ども医療費助成の対象者を高校生まで拡大し、子育て世帯に対する経済的な負担軽減を更に推進します。</p>				<p>1. 第4次子ども総合計画に基づき、子育て支援事業の進行管理を行った。</p> <p>2. ひとり親や子育て家庭に対して、給付金を適正に支給し、経済的な支援を行った。</p> <p>3. 放課後子どもプランに基づき、学童保育室やあびっこクラブの空調設備の更新や床修繕等を行い、保育環境の整備を行った。</p> <p>4. コロナウイルス感染症拡大により、宿泊事業やげんきフェスタ及び子どもまつりの開催を見送った。</p> <p>5. 少子化対策としての結婚相談事業を社会福祉協議会と連携し実施した。</p> <p>6. 8月には、子ども医療費助成の対象者を高校生まで拡大し、子育て世帯に対する経済的な負担軽減を推進した。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
学童保育室及びあびっこクラブの人員配置については、児童数・加配対象児童を鑑みての調整が必要です。					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重 担 部 課	重 担 部 課	指標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
1 子どもの居場所づくり	重4	33104	全あびっこクラブ登録児童数/全小学校在籍児童数	%	58.6	60	53.2	88.67	現状
2 げんきフェスタ	重4	33104	有料来場者数	人	0	700	0	0	現状
3 あびこ子どもまつり	重4	33104	有料来場者数	人	0	1,000	0	0	現状
4 子ども向け情報紙発行及びホームページの運営	重4	33104	情報紙「あびっこネット」の乳幼児及び小中学生のいる世帯への	%	90	90	90	100	現状
5 手賀の丘宿泊事業	重4	33104	応募者数	%	0	64	0	0	現状
6 青少年相談員事業への支援	重4	33104	楽しく有意義な体験ができた子どもの割合	%	0	100	0	0	現状
7 児童扶養手当支給事業	重無	33105	適正支給した件数/総支給件数の割合	%	100	100	100	100	現状
8 子ども医療費助成事業	重無	33105	適正に支給した件数/総支給件数	%	100	100	100	100	現状
9 母子家庭等相談・自立支援事業	重無	33105	支援決定件数	件	10	13	11	84.62	現状
10 ひとり親家庭の支援事業	重無	33105	適正支給した件数/総支給件数	%	100	100	100	100	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	学童保育室の運営	重4	33103	登録児童数(858人)/定員数(1,035人)	%	83	99	83	83.84	現状
12	放課後対策事業心理相談	重4	33103	相談希望対応率(相談対応件数/スタッフや保護者からの相談件)	%	100	100	25	25	現状
13	子ども総合計画の進行管理	重無	83102	子ども・子育て会議の開催回数	回	2	3	2	66.67	現状
14	ひとり親家庭等医療費助成事業	重無	33105	適正に支給した件数/総支給件数	%	100	100	100	100	現状
15	学童保育室の整備	重4	33103	施設の老朽化・長寿命化に係る施設整備。	保育	1	1	1	100	現状
16	未熟児養育医療	重無	33105	必要な医療給付者に対する給付率	%	100	100	100	100	現状
17	児童手当支給事業	重無	33105	適正に支給した件数/総支給件数	%	100	100	100	100	現状
18	我孫子市結婚相談事業への支援	重4	33102	相談・お見合い件数	件	306	590	306	51.86	見直し
19	子育て世帯への臨時特別給付金支給事業	重無	33105	適正に支給した件数/総支給件数	%	100	100	100	100	その他
20	ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業	重無	33105	適正支給した件数/総支給件数の割合	%	0	100	100	100	その他
21	新生児臨時給付金	重無	33105	適正に給付した件数/総給付件数	%	100	100	100	100	その他

部の運営方針・課の目標設定書(令和2年度)

部コード	17	部名	子ども部	部長名	星 範之
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>●第三次基本計画の重点プロジェクト4「若い世代に選ばれるまちづくり」やまち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進します。さらに、子ども・子育て支援事業計画を兼ねた「第四次我孫子市子ども総合計画」の進行管理を行い、乳幼児期の保育と教育や地域の子ども子育て支援策の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点施設を核とし、妊娠期からを視野に入れ、孤立せず安心して生き活きと子育てができる環境づくりに努めます。また、地域の人々との連携を密にし、地域の子育て力の向上と多様な子育て支援事業を展開します。 ・「第三次我孫子市保育園等整備計画(改訂版)」に基づき、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりに取り組むとともに、老朽化に伴い建て替える湖北台保育園とわくわく広場の複合施設を令和4年度に開設できるよう、今年度は設計業務を行います。 ・市内の保育園や認定こども園・幼稚園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、乳幼児期に質の高い保育・教育等の提供が受けられるよう指導・調整に努めます。 ・「子ども家庭総合支援拠点」では、育児や家庭環境など子どもと家庭に関する相談や児童虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、支援を要する妊産婦等にも積極的に働きかけ指導・助言を行います。また、オレンジボン運動の推進など児童虐待防止の啓発活動に取り組んでいきます。 ・いじめ問題に対しては、教育委員会と連携し「いじめ問題防止対策連絡協議会」を開催し、関係機関相互の連携強化を図り、いじめ防止等の対策を推進します。 ・「我孫子市子ども発達支援計画」に基づき、発達支援、家族支援、地域支援の充実と機能強化を図り、発達に支援が必要な子どもの乳幼児期からの一貫した支援体制作りを推進していきます。そのため「療育・教育システム連絡会」において、関係機関との連携を深め、早期発見からライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を進めます。 ・子育てを応援するため、子ども医療費助成の対象者を高校生まで拡大し、子育て世帯に対する経済的な負担軽減を、更に推進します。 ・「第二次放課後子ども総合プラン行動計画」に基づき、学童保育室とあびっ子クラブ、それぞれの事業の目的に沿って、子ども達の放課後が充実するよう施設の環境整備や質の向上に努めます。 ・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの自然体験・生活体験事業の実施や青少年育成団体の活動を支援します。 <p>・少子化対策として、結婚・妊娠・出産・子育て・子育てへの切れ目のない支援を推進していきます。</p>				<p>「第三次我孫子市保育園等整備計画(改訂版)」に基づき、教育・保育内容の向上と待機児童ゼロを堅持することができたとともに令和4年度の湖北台保育園とわくわく広場の複合施設開設に向け、設計業務を滞りなく実施できた。</p> <p>子育て支援では、子育て支援拠点施設を核として、新型コロナ禍ではあったが、その中でも模索しながら、多様な子育て支援事業の展開を心がけ、安心して快適に子育てできる環境づくりを推進することができた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、保育園や学童保育室などの登園自粛や集客する事業の中止などありましたが「新しい生活様式」を実践し、第三次基本計画の重点プロジェクト4「若い世代に選ばれるまちづくり」や、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」を念頭に、部の運営方針に基づき、3課が、各事業の適正な実施及び充実に遅延なく取り組み、子育て・子育て支援施策の推進が着実に図れたと評価する。</p>	



課コード	03	課名	保育課	課長名	石山 達也
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>1. 子育て中の親子が孤立することなく、地域の中で安心して子育てできる環境を整えるとともに、地域や保護者の「子育て力」を育むため、子育て支援施設を核とした親子の交流、子育て相談、子育て情報、地域支援活動(出前保育)等さまざまな子育て支援施策を充実します。</p> <p>2. 次期子ども総合計画の策定に合わせ「第三次我孫子市保育園等整備計画(改訂版)」に基づき、保育園の待機児童ゼロ施策を堅持します。</p> <p>3. 既存の保育園においては、児童が安全で安心に過ごせるように計画的に施設修繕・改修を進めます。また、湖北台保育園やわくわく広場については、令和4年度に開設できるよう、今年度は実施設計業務を行います。</p> <p>4. 子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、利用の手続きの周知や事業の実施形態の変更など、利用者支援員の活用なども併せ滞りない事業運営に取り組めます。</p> <p>5. ファミリーサポートセンター事業運営及び病児病後児保育事業運営については、委託事業者と連携を密にし、より利用しやすい事業運営になるよう努めます。</p> <p>6. 保育園の開設に伴う法人認可事務及び、地域型保育事業の認可事務並びに給付事務を適正に進めます。</p> <p>7. 保育園児童の健全な育成を図るため、保育士等の専門性の向上、研修の充実等、保育内容の向上に努めます。</p> <p>8. 幼稚園の預かり保育を充実し、幼稚園での就労・介護などによる保護者支援を促進します。</p> <p>9. 幼稚園児の安全な教育環境を確保するため、施設修繕の費用の一部を補助します。</p> <p>10. 幼稚園から認定こども園等に移行するため、意向のあった幼稚園に対し支援に努めます。</p> <p>11. 子育て支援・若者支援プロジェクトからの提案を受け、23年度から実施したenjoyパパ応援プロジェクトは、子育てフリーマーケットと同様に他の子育て支援イベントに盛り込み、子育て世代の交流増進を図ります。</p> <p>12. 保育園及び幼稚園の放射能対策は、市の方針に基づき実施します。</p>				<p>新型コロナ禍ではあったが、子育て中の親子が孤立することなく、地域の中で安心して子育てできる環境を整えるとともに、地域や保護者の「子育て力」を育むため、子育て支援施設を核とした、子育て相談、子育て情報、地域支援活動(出前保育)等模索しながら、子育て支援施策を図れた。</p> <p>「第三次我孫子市保育園等整備計画(改訂版)」に基づき、保育園の待機児童ゼロを35年間堅持することができた。</p> <p>市立保育園においては、子ども達が安全で安心に過ごせるように計画的に施設修繕及び改修を実施した。また、湖北台保育園やわくわく広場については、令和4年度に開設できるよう、実施設計業務を滞りなく実施した。</p> <p>ファミリーサポートセンター事業運営及び病児病後児保育事業運営については、委託事業者と連携を密にし、より利用しやすい事業の推進に努めた。</p> <p>保育士等の専門性の向上を図るため、市内公立私立合同研修会をリモート研修で実施し、保育の質の向上に努めた。</p> <p>幼稚園の預かり保育が充実し、幼稚園での就労・介護などによる保護者支援や幼稚園から認定こども園等に移行するため、意向のあった幼稚園に対し支援に努めた。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
待機児童ゼロの堅持に努めるには、全国的な保育士不足が課題となっており、正規保育士の保育園配置割合を高くする必要があります。					



4. 原因分析・改善策	
(課長) 保育需要の増大に対応し、待機児童ゼロを堅持するためには、保育士確保が喫緊の課題となっているが、全国的に保育士不足となっており、会計年度任用職員(保育士)の新規応募がないため、正規保育士の保育園配置割合を高くすることが必要である。	(部長) 待機児童ゼロを維持するため、人員を含めた組織体制の在り方等の検討が必要である。

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重 プ 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
1 市立保育園の地域子育て事業	重4	33102	園庭開放・マイ保育園の利用者数	人	2,024	2,030	791	38.97	現状
2 ファミリーサポートセンター事業の推進	重4	33102	提供・両方会員数	人	61	62	63	101.61	現状
3 子育て支援拠点事業	重4	33102	利用者数	人	52,937	55,000	12,899	23.45	現状
4 一時預かり事業	重4	33102	一時預かり保育利用希望者の利用率	%	100	100	100	100	現状
5 世代間交流事業の促進	重4	33103	高齢者参加人数	人	485	490	13	2.65	現状
6 市立保育園運営事業	重4	33103	保育を必要とする児童の入園率	%	100	100	100	100	現状
7 幼稚園における子育て支援事業の実施	重4	33103	施設等利用費の給付率(適正に給付した人数/給付対象者数×100)	%	100	100	100	100	現状
8 産休・育休予約事業	重4	33103	入園予約児童数に対する入園実施割合	%	100	100	100	100	現状
9 病児・病後児保育事業	重4	33103	利用者数	人	264	306	25	8.17	現状
10 私立保育園・管外保育園への保育実施委託	重4	33103	保育を必要とする児童の申込に対する入園率	%	100	100	100	100	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価	
11 私立保育園運営費補助金交付事業	重4	33103	保育を必要とする児童の申込に対する入園率	%	100	100	100	100	現状	
12 障害児保育・統合保育事業	重4	33103	入園児童数	人	42	20	42	210	現状	
13 私立幼稚園の運営支援	重4	33103	私立幼稚園等補助金、施設型給付費、我孫子市特定教育・保育施	%	100	100	100	100	現状	
14 子育て支援サービス利用者へのコーディネイトの推進	重4	33102	相談件数	件	1,137	1,570	799	50.89	現状	
15 休日保育事業	重4	33103	実施率（実施件数／申込件数）	%	100	100	100	100	現状	
16 保育園・幼稚園の放射能対策	重無	12201	基準値を超える園の放射線低減化対策実施率	%	100	100	100	100	縮小	
17 私立保育園等施設整備への補助	重4	33103	補助金を交付する園数	園	1	1	100	10,000	現状	
18 湖北台保育園の再整備	重4	33103	設計業務の進捗率	%	100	100	100	100	現状	
19 子育てサポーターの養成と地域活動の推進	重4	33102	子育て中の家庭を訪問し、子育て支援施設の情報紙等を配付した	件	45	60	13	21.67	現状	
20 企業参加の子育て支援	重4	33102	市内のチーバス協賛店舗数	箇所	171	175	161	92	現状	

部の運営方針・課の目標設定書(令和2年度)

部コード	17	部名	子ども部	部長名	星 範之
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>●第三次基本計画の重点プロジェクト4「若い世代に選ばれるまちづくり」やまち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進します。さらに、子ども・子育て支援事業計画を兼ねた「第四次我孫子市子ども総合計画」の進行管理を行い、乳幼児期の保育と教育や地域の子どもの子育て支援策の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点施設を核とし、妊娠期からを視野に入れ、孤立せず安心して生き活きと子育てができる環境づくりに努めます。また、地域の人々との連携を密にし、地域の子育て力の向上と多様な子育て支援事業を展開します。 ・「第三次我孫子市保育園等整備計画(改訂版)」に基づき、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりに取り組むとともに、老朽化に伴い建て替える湖北台保育園とわくわく広場の複合施設を令和4年度に開設できるよう、今年度は設計業務を行います。 ・市内の保育園や認定こども園・幼稚園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、乳幼児期に質の高い保育・教育等の提供が受けられるよう指導・調整に努めます。 ・「子ども家庭総合支援拠点」では、育児や家庭環境など子どもと家庭に関する相談や児童虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、支援を要する妊産婦等にも積極的に働きかけ指導・助言を行います。また、オレンジボン運動の推進など児童虐待防止の啓発活動に取り組んでいきます。 ・いじめ問題に対しては、教育委員会と連携し「いじめ問題防止対策連絡協議会」を開催し、関係機関相互の連携強化を図り、いじめ防止等の対策を推進します。 ・「我孫子市子ども発達支援計画」に基づき、発達支援、家族支援、地域支援の充実と機能強化を図り、発達に支援が必要な子どもの乳幼児期からの一貫した支援体制作りを推進していきます。そのため「療育・教育システム連絡会」において、関係機関との連携を深め、早期発見からライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を進めます。 ・子育てを応援するため、子ども医療費助成の対象者を高校生まで拡大し、子育て世帯に対する経済的な負担軽減を、更に推進します。 ・「第二次放課後子ども総合プラン行動計画」に基づき、学童保育室とあびっ子クラブ、それぞれの事業の目的に沿って、子ども達の放課後が充実するよう施設の環境整備や質の向上に努めます。 ・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの自然体験・生活体験事業の実施や青少年育成団体の活動を支援します。 <p>・少子化対策として、結婚・妊娠・出産・子育て・子育てへの切れ目のない支援を推進していきます。</p>				<p>発達に支援が必要な子どもが増加する中、こども発達センターを中心に関係機関と連携し、対象となる子どもとその家族に対して、質の高い専門的な発達支援を実施している。また、すべての子どもが安心して地域で健やかに成長できるように、地域支援の充実と機能強化を図れたと評価する。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、保育園や学童保育室などの登園自粛や集客する事業の中止などありましたが「新しい生活様式」を実践し、第三次基本計画の重点プロジェクト4「若い世代に選ばれるまちづくり」や、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」を念頭に、部の運営方針に基づき、3課が、各事業の適正な実施及び充実に遅延なく取り組み、子育て・子育て支援施策の推進が着実に図れたと評価する。</p>	



課コード	06	課名	こども発達センター	課長名	三澤 由紀子
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○障害が確定されている子どもや発達に支援が必要な子どもが、健やかに成長するためには、早期からの療育的支援が必要です。そのために関係機関が連携し、1歳6ヵ月児健診、3歳児健診、5歳児健診、就学時健診及び子育て相談を実施することで早期発見に努め、個々のニーズに合わせた支援計画に基づいた療育支援を実施していきます。</p> <p>○発達に支援が必要な子どもとその家族に対して、早期支援、家族支援、発達支援、地域支援の充実を図ります。</p> <p>○(改訂版)我孫子市子ども発達支援計画に基づき、発達に支援が必要な子どもとその家族が健やかで安定した生活が地域で送れるよう、地域支援を軸に教育施策とも連携し、ライフステージに応じた一貫した支援体制を療育・教育システム連絡会で構築します。</p> <p>○(改訂版)我孫子市子ども発達支援計画の評価とアンケート調査等を行い、令和3(2021)年度からの次期計画を策定します。</p> <p>○発達支援の専門性を活かして施設への訪問指導、研修会等を行い、地域の幼稚園及び保育園職員や民間児童通所事業所等職員のスキルアップを目指します。</p> <p>○ライフダイアリーを、多くの家庭で活用してもらうことができるように普及・啓発活動を行います。また、活用の仕方について検討を行います。</p>				<p>「<改訂版>我孫子市子ども発達支援計画(第1期障害児福祉計画)」に基づき、こども発達センターを中心に、子どもとその家族に対して、児童発達支援、保育所等訪問支援、家族支援等の直接的支援を行った。児童発達支援センターの大きな役割である地域支援は、新型コロナウイルスの流行により、外部への学習会の実施ができず、規模を縮小しての事業展開となった。また、保育、保健医療、教育、就労支援等の関係機関と連携した支援体制の構築を「療育・教育システム連絡会」で推進している。また、療育・教育システム連絡会で審議を行い、第2期我孫子市子ども発達支援計画の策定を行った。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>○発達に支援が必要な子どもだけでなく、DVや保護者自身の虐待歴、保護者の精神疾患等、家族の状況が複雑な家庭が増えています。療育の提供も重要ですが、家庭で養育ができるような支援をしていくことが必要とされています。子ども相談課や教育研究所との連携の在り方も検討しながら事業をすすめるために、事業の順位づけをし、効率的な人員配置を行う必要があります。</p>					



4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重 プ 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
1 発達支援に関する専門職員の派遣	重4	33106	相談実施件数	件	386	390	381	97.69	現状
2 児童発達支援事業所「ひまわり園」による発達支援	重4	33106	出席率	%	74	80	74	92.5	現状
3 言語聴覚士による相談・訓練	重4	33106	実施率	%	100	100	100	100	現状
4 理学療法士による相談・訓練	重4	33106	実施率	%	100	100	100	100	現状
5 保育所等訪問支援事業所「おひさま」による発達支援	重4	33106	実施率	%	100	100	100	100	現状
6 ケースワーカーによる相談・調整	重4	33106	こども発達センター利用者数	人	740	670	750	111.94	現状
7 心理相談員による相談・訓練	重4	33106	実施率	%	100	100	100	100	現状
8 療育・教育システムの構築	重4	33106	会議の開催回数	回	3	3	2	66.67	現状
9 作業療法士による相談・訓練	重4	33106	実施率	%	100	100	100	100	現状
10 ライフダイアリー普及事業	重4	33106	ライフダイアリーの配布数	人	941	1,000	849	84.9	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	重4	33106	施設の維持管理、運営。	%	100	100	100	100	現状
12	重4	33106	児童支援利用計画の作成数。	件	537	550	528	96	現状
13	重4	33106	年間利用者数	人	44	50	15	30	現状
14	重4	33106	支援率	%	100	100	100	100	現状